

平成20年度第1回長崎県登録販売者試験問題

《 午後の部 》

問61 ~ 問100 主な医薬品とその作用

問101 ~ 問120 薬事関係法規・制度

< 注意事項 >

1. 試験時間は、13時30分から15時30分までの2時間です。
2. 必ず解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 退室は14時30分までできません。14時30分以降退室するときは、必ず解答用紙は裏返しにして机の上に置き、荷物を持って退室してください。問題用紙は持ち帰ってもかまいません。
5. 印刷等の文字が不鮮明なときは、黙って手をあげてください。ただし、試験問題の内容についての質問には一切応じられません。
6. 計算機の使用はできません。
7. 試験監督者の指示に従ってください。

受 験 番 号	氏 名

【主な医薬品とその作用】

この試験問題においての「薬事法」は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の薬事法とします。

問61

「かぜ」に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア かぜの症状は、くしゃみ、鼻汁・鼻閉（鼻づまり）、咽頭痛、咳、痰等の呼吸器症状、発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感等の全身症状が、様々に組み合わさって現れる。「かぜ」は単一の疾患ではなく、医学的にはかぜ症候群という。
- イ 原因のほとんどは細菌の感染であるが、その他、ウイルスの感染や、まれに冷気や乾燥、アレルギーのような非感染性の要因による場合もある。
- ウ かぜ薬とは、かぜの諸症状の緩和を目的として使用される医薬品の総称であり、総合感冒薬とも呼ばれる。
- エ かぜ薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、体内から取り除くものではなく、咳で眠れなかったり、発熱で体力を消耗しそうなときなどに、それら諸症状の緩和を図るものである。

	ア	イ	ウ	エ
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	正	正	正	正

問62

以下の漢方製剤のうち、構成生薬としてカンゾウを含まないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 麻黄湯
- 2 柴胡桂枝湯
- 3 半夏厚朴湯
- 4 葛根湯
- 5 麦門冬湯

【主な医薬品とその作用】

問63

以下の漢方製剤のうち、インターフェロン製剤で治療を受けている人では、間質性肺炎の副作用が現れるおそれが高まるため、使用を避ける必要があるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 小^{しょうせいりゅうとう}青^{せい}竜^{りゅう}湯^{とう}
- 2 意^{よくい}苡^{いにんとう}仁^{にん}湯^{とう}
- 3 香^{こうそさん}蘇^そ散^{さん}
- 4 桂^{けいしとう}枝^し湯^{とう}
- 5 小^{しょうさいことう}柴^{さい}胡^こ湯^{とう}

問64

まれに重篤な副作用として、腎障害、無菌性^{ずい}髄膜炎を生じることがあるものとして最も適当な成分を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 イブプロフェン
- 3 リン酸コデイン
- 4 グリチルリチン酸二カリウム
- 5 アスピリン

【主な医薬品とその作用】

問 6 5

解熱鎮痛薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 痛みや発熱の原因となっている病気や外傷自体を治すものでなく、発熱や痛みを鎮めるため使用される医薬品（内服薬）の総称である。
- イ 化学的に合成された成分は、悪寒・発熱時の解熱のほか、頭痛、歯痛、抜糸後の疼痛、咽喉痛、耳痛、関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛、肩こり痛などの鎮痛に用いられる。
- ウ 発熱に対して、中枢でのプロスタグランジンの産生を抑えるほか、腎臓での水分の再吸収を促して循環血流量を増し、発汗を促す作用もあるとされる。
- エ 循環血流量の増加は心臓の負担が増すことにつながるため、心臓に障害がある場合には、その症状を悪化させるおそれがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	正
5	正	正	正	正

問 6 6

以下の解熱鎮痛成分のうち、胃腸障害が最も起こりやすいとされているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 アスピリン
- 3 サザピリン
- 4 エテンザミド
- 5 サリチルアミド

【主な医薬品とその作用】

問 6 7

以下の記述は、胃腸鎮痛鎮^{けい}痙薬に配合された抗コリン成分に係る副作用に関するものである。
誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 口渇
- 2 顔のほてり
- 3 胸やけ
- 4 眠気
- 5 便秘

問 6 8

ブロムワレリル尿素に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ブロムワレリル尿素は、脳の興奮を(ア)、痛み等を感じる感覚を(イ)する作用を示す。かぜ薬や解熱鎮痛薬などに(ウ)として配合されることが多い。

- | | ア | イ | ウ |
|---|----|----|------|
| 1 | 抑え | 鋭く | 主成分 |
| 2 | 高め | 鈍く | 主成分 |
| 3 | 抑え | 鈍く | 補助成分 |
| 4 | 高め | 鋭く | 補助成分 |
| 5 | 抑え | 鈍く | 主成分 |

【主な医薬品とその作用】

問 6 9

カフェインに関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

カフェインは、脳に軽い(ア)状態を引き起こす作用を示し、眠気や倦怠感^{けん}を一時的に(イ)る効果が期待される。

また、腎臓での水分の再吸収を抑制するとともに、膀胱括約筋^{ぼうこう}を弛緩させる働きがあり、尿量の(ウ)をもたらす。

	ア	イ	ウ
1	興奮	強め	減少
2	興奮	抑え	減少
3	催眠	抑え	増加
4	興奮	抑え	増加
5	催眠	強め	増加

【主な医薬品とその作用】

問70

鎮^{うん}暈薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 抗めまい成分の塩酸ジフェニドールは、内耳にある前庭と脳を結ぶ神経（前庭神経）の調節作用のほか、内耳への血流を改善する作用を示す。
- イ ジメンヒドリナートは、テオクル酸ジフェンヒドラミンの一般名で、専ら乗物酔い防止薬に配合される抗コリン成分である。
- ウ 塩酸メクリジンは、他の抗ヒスタミン成分と比べて作用が現れるのが遅く持続時間が長く、これも専ら乗物酔い防止薬に配合されている。
- エ 臭化水素酸スコポラミンは、乗物酔い防止に古くから用いられている抗ヒスタミン成分で、消化管からよく吸収され、他の抗ヒスタミン成分と比べて脳内に移行しやすいとされるが、肝臓で速やかに代謝されてしまうため、抗コリン成分等と比べて作用の持続時間は短い。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	正	正	誤	誤

問71

以下の成分のうち、交感神経系を刺激して気管支を拡張させる作用を示し、呼吸を楽にして咳^{せき}や喘息^{ぜん}の症状を鎮めるものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 塩酸メチルエフェドリン
- 2 ノスカピン
- 3 塩酸ブロムヘキシン
- 4 塩化リゾチーム
- 5 リン酸ジヒドロコデイン

【主な医薬品とその作用】

問72

生薬とその作用に関する以下の関係のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	生薬	作用
ア	セキサン（ヒガンバナの鱗茎 ^{りん} ）	- 解熱作用
イ	シャゼンシ（オオバコの種子）	- 去痰 ^{たん} 作用
ウ	オウヒ（ヤマザクラの樹皮）	- 抗炎症作用
エ	セネガ（セネガの根）	- 去痰 ^{たん} 作用

1（ア、ウ） 2（ア、エ） 3（イ、ウ） 4（イ、エ）

問73

口腔^{くわう}咽^{いん}喉^{こう}薬・含^そ嗽^う薬に関する一般的な注意事項に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア トローチ剤やドロップ剤は、有効成分が口腔^{くわう}内^{いん}や咽^{いん}頭^{とう}部^ぶに行き渡るよう、口中^{くちゅう}に含^かみ、嚙^かまずにゆっくり溶かすようにして使用されることが重要であり、嚙^かみ砕^{くだ}いて飲み込んでしまうと効果は期待できない。
- イ 噴射式の液剤では、息を吸いながら噴射すると気管支や肺に入ってしまうおそれがあるため、軽く息を吐いたり、声を出しながら噴射することが望ましい。
- ウ 含^そ嗽^う薬は、用時水で希釈又は溶解して使用するものが多いが、調製した濃度が濃すぎても薄すぎても効果が十分得られない。
- エ 含^そ嗽^う薬の使用後すぐに食事を摂ると、殺菌消毒効果は薄れやすい。

	ア	イ	ウ	エ
1	誤	正	誤	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	正	誤
5	正	正	正	正

【主な医薬品とその作用】

問74

胃の不調と胃の薬の作用に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 胃の働きに異常が生じると、胃液の分泌量の増減や食道への逆流が起こったり、胃液による消化作用から胃自体を保護する働きや胃の運動が低下して、胸やけや胃の不快感、消化不良、胃もたれ、食欲不振等の症状として現れる。
- イ 制酸薬は、胃液の分泌亢進による胃酸過多や、それに伴う胸やけ、腹部の不快感、吐き気等の症状を緩和することを目的とする医薬品である。その配合成分としては、胃酸の働きを弱めるもの、胃液の分泌を抑えるものなどが用いられる。
- ウ 消化薬は、弱った胃の働きを高めることを目的とする医薬品である。配合される生薬成分は独特の味や香りを有し、唾液や胃液の分泌を促して胃の働きを活発にする作用があるとされる。
- エ 健胃薬は、炭水化物、脂質、蛋白質等の分解に働く酵素を補う等により、胃や腸の内容物の消化を助けることを目的とする医薬品である。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問75

胃腸に作用する薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 酸化マグネシウムは、炭酸飲料での服用は適当でない。
- 2 スクラルファートは、透析を受けている人は使用を避ける必要がある。
- 3 塩酸ピレンゼピンは、使用後は乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- 4 塩酸ロペラミドは、食あたりや水あたりによる下痢に適用する。

【主な医薬品とその作用】

問76

腸の薬、その他消化器官用薬の仕組みに関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 整腸薬は、腸の調子や便通を整える（整腸）、腹部膨満感、軟便、便秘に用いられることを目的とする医薬品であり、その配合成分としては、腸内細菌の数やバランスに影響を与えたり、腸の活動を促す成分が主として用いられる。
- イ 瀉下薬は、下痢、食あたり、吐き下し、水あたり、下り腹、軟便等に用いられることを目的とする医薬品であり、その配合成分としては、腸やその機能に直接働きかけるもののほか、腸管内の環境を整えて腸に対する悪影響を減らすことによる効果を期待するものもある。
- ウ 止瀉薬は、便秘症状及び便秘に伴う肌荒れ、頭重、のぼせ、吹き出物、食欲不振、腹部膨満、腸内異常発酵、痔の症状の緩和、又は腸内容物の排除に用いられることを目的とする医薬品であり、その配合成分としては、腸管を直接刺激するもの、腸内細菌の働きによって生成した物質が腸管を刺激するもの、糞便のかさや水分量を増すもの等がある。
- エ 浣腸薬は、便秘の場合に排便を促すことを目的として、直腸内に適用される医薬品である。剤型には注入剤（肛門から薬液を注入するもの）のほか、坐剤となっているものもある。

1（ア、イ） 2（ア、エ） 3（イ、ウ） 4（ウ、エ）

問77

以下の薬の記述のうち、小児に対する適用について正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア イブプロフェンは、15歳未満の小児には適用がない。
- イ ヒマシ油は、15歳未満では使用を避けることとされている。
- ウ アミノ安息香酸エチルは、15歳未満の小児への使用は避ける必要がある。
- エ オキセサゼインは、15歳未満の小児では、使用を避けることとされている。

1（ア、ウ） 2（ア、エ） 3（イ、ウ） 4（イ、エ）

【主な医薬品とその作用】

問78

強心薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア センソは、ヒキガエル科のシナヒキガエル又はヘリグロヒキガエルの毒腺^{せん}の分泌物を集めたもので、微量で強い強心作用を示す。
- イ ゴオウは、シカ科のシベリアジカ、マンシュウアカジカの胆嚢^{のう}中に生じた結石を用いた生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用があるとされる。
- ウ リュウノウは、フタバガキ科のリュウノウジュの樹幹の空隙に析出する精油の結晶を用いた生薬で、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。
- エ ロクジョウは、ウシ科のウシの雄の幼角を用いた生薬で、強心作用の他、強壯、血行促進等の作用があるとされる。

1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問79

血中コレステロールと高コレステロール改善成分の働きに関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号の()内には同じ字句が入ります。

コレステロールは水に(ア)物質であるため、血液中では血漿^{しょうたん}蛋白質^{たん}と結合したり蛋白質^{たん}となって存在する。

リポ蛋白質^{たん}は比重によっていくつかの種類に分類されるが、そのうち(イ)は、コレステロールを肝臓から末梢組織へと運ぶリポ蛋白質^{たん}である。一方、(ウ)は、末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶリポ蛋白質^{たん}である。

このように、2種類のリポ蛋白質^{たん}によって、肝臓と末梢組織の間をコレステロールが行き来しているが、血液中の(イ)が多く、(ウ)が少ないと、コレステロールの運搬が末梢組織側に偏ってその蓄積を招き、心臓病や肥満、動脈硬化症等の生活習慣病につながる危険性が高くなる。

	ア	イ	ウ
1	溶けやすい	低密度リポ蛋白質 ^{たん} (LDL)	高密度リポ蛋白質 ^{たん} (HDL)
2	溶けにくい	高密度リポ蛋白質 ^{たん} (HDL)	低密度リポ蛋白質 ^{たん} (LDL)
3	溶けやすい	高密度リポ蛋白質 ^{たん} (HDL)	低密度リポ蛋白質 ^{たん} (LDL)
4	溶けにくい	低密度リポ蛋白質 ^{たん} (LDL)	高密度リポ蛋白質 ^{たん} (HDL)

【主な医薬品とその作用】

問 8 0

貧血に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 貧血は、その原因によりビタミン欠乏性貧血、鉄欠乏性貧血等に分類されるが、一般的な症状として、疲労、動悸、息切れ、血色不良、頭痛、耳鳴り、めまい、微熱、皮膚や粘膜の蒼白（青白くなること）、下半身のむくみ等が現れる。
- イ 貧血用薬（鉄製剤）の主な副作用として、悪心（吐き気）、嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛、便秘、下痢等の胃腸障害が知られている。鉄分の吸収は空腹時のほうが高いとされているが、消化器系への副作用を軽減するには、食後に服用することが望ましい。
- ウ 貧血の薬を服用する前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が悪くなることがあるので、服用前後はそれらの摂取を控えることとされている。
- エ 一般用医薬品の貧血用薬（鉄製剤）によって改善が図ることができるのは、鉄不足によって貧血症状が生じている鉄欠乏性貧血のみである。特段の基礎疾患等がなく鉄分の欠乏を生じる主な要因としては、食事の偏り（鉄分の摂取不足）が考えられ、貧血用薬（鉄製剤）の使用による対処と併せて、食生活の改善が図られることが重要であり、貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬（鉄製剤）を使用することが望ましい。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	正	正	誤	誤

【主な医薬品とその作用】

問 8 1

60歳の男性から、下記の成分で示される医薬品を購入、服用しようとして相談を受けた。登録販売者が説明する上で必要な事柄に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

1 日量の成分

ヨウ化イソプロパミド	5mg
マレイン酸クロルフェニラミン	8mg
プロメライン	80000U

- 1 本剤は抗ヒスタミン薬と抗分泌薬を含有しており、基礎疾患や症状として排尿困難や緑内障があった場合、症状が悪化する恐れがあるので、基礎疾患や症状の有無について確認した。
- 2 本剤は抗分泌薬を含有しており、口の渇き、便秘の副作用が現れやすいことを説明した。
- 3 本剤は消炎酵素薬を含有しており、肝臓の代謝・排泄機能の低下によって副作用が発症しやすくなるので、肝臓病がないか確認した。
- 4 本剤は抗ヒスタミン薬を含有しており、眠気があらわれることがあるので、注意して乗物を運転するように説明した。

問 8 2

痔は、肛門付近の血管が鬱血し、肛門に負担がかかることによって生じる肛門の病気である。以下の成分のうち、痔の薬に使用されないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 局所麻酔成分
- 2 抗ヒスタミン成分
- 3 抗炎症成分
- 4 コリン作動成分
- 5 殺菌消毒成分

【主な医薬品とその作用】

問 8 3

塩酸プソイドエフェドリンに関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

塩酸プソイドエフェドリンについては、他のアドレナリン作動成分に比べて中枢神経系に対する作用が強く、副作用として(ア)や(イ)が現れることがある。また、交感神経系に対する刺激作用によって心臓血管系や肝臓でのエネルギー代謝等への影響も生じやすく、心臓病、高血圧、糖尿病又は甲状腺機能障害の診断を受けた人、前立腺肥大による排尿困難の症状がある人では、症状を悪化させるおそれがあり、使用を避ける必要がある。

自律神経系を介した副作用として、(ウ)や頭痛、排尿困難が現れることがある。

	ア	イ	ウ
1	不眠	肝機能障害	めまい
2	不眠	神経過敏	めまい
3	めまい	肝機能障害	不眠
4	めまい	血小板障害	不眠
5	めまい	神経過敏	肝機能障害

問 8 4

鼻に用いる薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- アレルギー性鼻炎は、ハウスダストや花粉等のアレルゲンに対する過敏反応によって引き起こされる鼻粘膜の炎症で、スギ等の花粉がアレルゲンとなって生じるものは一般に「花粉症」と呼ばれる。
- スプレー式鼻炎用点鼻薬は、噴霧後に鼻汁とともに逆流する場合があるので、使用前に鼻をよくかんでおいた方がよい。使用後には鼻に接した部分を清潔なティッシュペーパー等で拭き、必ずキャップを閉めた状態で保管し清潔に保っておけば、家族で共用してもかまわない。
- アドレナリン作動成分は、交感神経系を刺激して鼻粘膜を通っている血管を収縮させることにより、鼻粘膜の充血や腫れを和らげることを目的としている。アドレナリン作動成分が配合された点鼻薬は、過度に使用されると鼻粘膜の血管が反応しなくなり、逆に血管が拡張して二次充血を招き、鼻づまり(鼻閉)がひどくなりやすい。
- ヒスタミンの遊離を抑える成分(抗アレルギー成分)は、肥満細胞からヒスタミンの遊離を抑える作用を示し、花粉、ハウスダスト(室内塵)等による鼻アレルギー症状の緩和を目的として、通常、抗ヒスタミン成分と組み合わせて配合される。アレルギー性でない鼻炎や副鼻腔炎に対しては無効である。

【主な医薬品とその作用】

問 8 5

眼科用薬の成分に関する以下の関係のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	配合成分		成分名
ア	目の調節機能を改善する配合成分	-	コンドロイチン硫酸ナトリウム
イ	目の炎症を抑える配合成分	-	イプシロン-アミノカプロン酸
ウ	目の乾きを改善する配合成分	-	メチル硫酸ネオスチグミン
エ	目の痒み ^{かゆ} を抑える配合成分	-	マレイン酸クロルフェニラミン

1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 8 6

眼科用薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 点眼薬は、結膜囊^{のう}に適用するものであるため、通常、無菌的に製造されている。点眼の際に容器の先端がまぶたやまつげに触れると、雑菌が薬液に混入して汚染を生じる原因となるため、触れないように注意しながら1滴ずつ正確に点眼する。
- イ 点眼薬の容器に記載されている使用期限は、未開封の状態におけるものであり、容器が開封されたから長期間を経過した製品は、使用を避けることが望ましい。
- ウ コンタクトレンズをしたままでの点眼は、ソフトコンタクトレンズ、ハードコンタクトレンズに関わらず、添付文書に使用可能と記載されてない限り行わないことが望ましい。
- エ 点眼後は、数秒間、まぶた^{くま}を閉じて、薬液を結膜囊^{のう}内に行き渡らせる。その際、目頭を軽く押さえると、薬液が鼻腔内へ流れ込むのを防ぐことができ、効果的とされる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	正
5	正	正	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 8 7

皮膚に用いる薬の成分の以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アクリノールは、黄色の色素で、一般細菌類の一部（連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌^{のう}）に対する殺菌消毒作用を示すが、真菌、結核菌、ウイルスに対しては効果がない。刺激性が高く、創傷患部にしみやすい。衣類等に付着すると黄色く着色し、脱色しにくくなることがある。
- イ オキシドールは、一般細菌類の一部（連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌^{のう}）に対する殺菌消毒作用を示すが、真菌、結核菌、ウイルスに対しては効果がない。殺菌作用は、過酸化水素の分解に伴って発生する活性酸素による酸化、及び発生する酸素による泡立ちによる物理的な洗浄効果であるため、作用の持続性は長く、また、組織への浸透性も高い。
- ウ ヨウ素系殺菌消毒成分は、ヨウ素による酸化作用により、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。ヨウ素の殺菌力はアルカリ性になると低下するため、石鹼^{けん}等と併用する場合には、石鹼分をよく洗い落としてから使用することが望ましい。
- エ マーキュロクロムは、一般細菌類の一部（連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌^{のう}）に対する殺菌消毒作用を示すが、真菌、結核菌、ウイルスに対しては効果がない。有機水銀の一種であるが、皮膚浸透性が低く、通常の使用において水銀中毒を生じることはない。ただし、口の周りや口が触れる部位（乳頭等）への使用は避ける必要がある。

1（ア、イ） 2（ア、エ） 3（イ、ウ） 4（ウ、エ）

問 8 8

皮膚に用いる薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 外皮用薬は、皮膚表面に生じた創傷や症状、又は皮膚の下にある毛根、血管、筋組織、関節等の症状を改善・緩和するため、外用局所に直接適用される医薬品である。
- 2 塗り薬は、薬剤を容器から直接指に取り、患部に塗布したあと、また指に取ることを繰り返すと、容器内に雑菌が混入するおそれがある。いったん手の甲などに必要量を取ってから患部に塗布することが望ましい。
- 3 貼付剤・パップ剤は、患部やその周囲に汗や汚れ等が付着した状態で貼付すると、有効成分の浸透性が低下するため十分な効果は得られない。
- 4 外皮用薬は、表皮の角質層が柔らかくなることで有効成分が浸透しやすくなることから、入浴前に用いるのが効果的とされる。

【主な医薬品とその作用】

問 8 9

皮膚に用いる薬の成分と主な作用に関する以下の関係のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	主な作用
ア	サリチル酸	- 痒 ^{かゆ} みや発赤などの皮膚症状を抑える
イ	フェルビナク	- 打撲、捻挫 ^{ねんざ} 等による痛みの鎮痛
ウ	トウガラシ	- 温感刺激を与え、患部の血行促進
エ	デキサメタゾン	- 角質成分を溶解することによる角質軟化

1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 9 0

以下の皮膚に用いる薬のうち、抗真菌薬でないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 硝酸オキシコナゾール
- 2 塩酸ネチコナゾール
- 3 ビホナゾール
- 4 塩酸ブテナフィン
- 5 サリチル酸メチル

【主な医薬品とその作用】

問 9 1

禁煙補助剤に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア タバコの煙に含まれるニコチンは、肺胞の毛細血管から血液中に取り込まれると、すみやかに脳内に到達し、脳の情動を司る部位に働いて覚醒^{せいせい}、リラックス効果などをもたらす。
- イ ニコチンを有効成分とする医薬品(咀嚼^{そしゃく}剤)は、噛むことにより口腔^{くわう}内でニコチンが放出され、口腔^{くわう}粘膜から吸収されて循環血液中に移行する。
- ウ 菓子のガムのように噛むと唾液^{かた}が多く分泌されるので、口腔^{くわう}粘膜からの吸収がよい。
- エ 口腔^{くわう}内が酸性になるとニコチンの吸収が上昇するため、コーヒーや炭酸飲料など口腔^{くわう}内を酸性にする食品を摂取した後しばらくは使用を避けることが望ましい。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 9 2

ビタミン剤に関する以下の関係の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	ビタミン剤の種類	成分名	主な適用
ア	ビタミンA	- 酢酸レチノール	- 夜盲症(とり目)
イ	ビタミンD	- トコフェロール	- 高カルシウム血症
ウ	ビタミンB ₂	- 酪酸リボフラビン	- 脚気
エ	ビタミンB ₁₂	- シアノコバラミン	- 貧血

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	正	正	誤	誤

【主な医薬品とその作用】

問93

殺菌消毒作用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア クレゾール石^{けん}鹼は、結核菌を含む一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、ウイルスに対する殺菌消毒作用はない。
- イ エタノールは、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対する殺菌消毒作用を示す。
- ウ サラシ粉は、強い酸化力により一般細菌類、真菌類、ウイルス全般に対する殺菌消毒作用を示すが、皮膚刺激性が強いため、人体の消毒には用いられない。
- エ ジクロルイソシアヌル酸ナトリウムは、塩素臭や刺激性、金属腐食性が比較的抑えられており、プール等の大型設備の殺菌・消毒に用いられることが多い。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	正
5	正	正	正	正

問94

病原菌であるO-157大腸菌を媒介する代表的な衛生害虫を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ハエ
- 2 蚊
- 3 ノミ
- 4 シラミ
- 5 イエダニ

【主な医薬品とその作用】

問 9 5

尿糖・尿蛋白^{たん}の検査結果に影響を与える主な要因としての記述のうち、誤っているものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 糖分や蛋白^{たん}が付着している容器に尿を採取すると正確な検査結果が得られないので、清浄な容器が使用される必要がある。
- 2 採尿のタイミングは、尿蛋白^{たん}の場合、原則として、早朝尿（起床直後の尿）を検体とし、激しい運動の直後は避ける必要がある。
- 3 採尿は、出始めの尿では、尿道や外陰部等に付着した細菌や分泌物が混入することがあるため、中間尿を採取して検査がなされることが望ましい。
- 4 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で中性～弱酸性に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。

問 9 6

漢方処方製剤の用法用量において、適用年齢の下限が設けられていない場合があるが、そのような場合であっても使用しないことが望ましい年齢を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 12歳未満
- 2 8歳未満
- 3 3歳未満
- 4 生後1歳未満
- 5 生後3ヶ月未満

【主な医薬品とその作用】

問97

アスピリンを含有する一般用医薬品を使用する際に、いかなる場合でも使用してはならない年齢制限について、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 6歳未満
- 2 12歳未満
- 3 15歳未満
- 4 65歳以上
- 5 70歳以上

問98

殺菌消毒薬の誤用・事故に対する家庭での応急処置に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 誤って飲み込んでしまった場合は、消化管からの吸収を遅らせ粘膜を保護するために、多量の牛乳を飲ませると良い。
- イ 原末や濃厚液を飲み込んでしまった場合には、粘膜などを保護するために、できるだけ早く吐き出させるようにする。
- ウ 目に酸やアルカリが入った場合は、できるだけ早く酸やアルカリを用いて中和することが大切である。
- エ 誤って皮膚に付着した場合は、石鹼^{けん}を用いて流水で皮膚を十分に水洗する。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 4 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |

【主な医薬品とその作用】

問 9 9

医薬品の成分とその作用に関する以下の関係のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	乳酸カルシウム	- 関節痛、筋肉痛等の改善
イ	システイン	- しみ・そばかす・日焼けなどの色素沈着症の緩和
ウ	アミノエチルスルホン酸	- 肝臓機能の改善
エ	コンドロイチン硫酸ナトリウム	- 妊娠・授乳期の骨歯の脆弱予防

1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 1 0 0

40歳の女性から、「風邪気味で頭痛があり、^{のど} ^は喉が腫れているので、解熱鎮痛薬の購入をしたい。常時、自動車の運転に携わる仕事をしている。」と相談を受けた。

以下の成分を含む医薬品のうち、登録販売者が販売するにあたり適当ではないものの一つを選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 エテンザミド
- 2 プロムワレリル尿素
- 3 アセトアミノフェン
- 4 塩化リゾチーム
- 5 無水カフェイン

【薬事関係法規・制度】

この試験問題における「薬事法」は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の薬事法とします。

問101

以下は、薬事法の条文に関する記述である。誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局開設者又は医薬品の販売業の許可を受けた者でなければ、業として、医薬品を販売してはならない。
- 2 医薬品の販売業の許可は、店舗販売業の許可、配置販売業の許可又は卸売販売業の許可の三種類に分けられる。
- 3 店舗販売業者は、店舗の管理者が薬剤師であれば、薬理作用が緩和な医療用医薬品を販売できる。
- 4 卸売販売業者は、業として一般の生活者に対して直接医薬品の販売を行うことは認められていない。

問102

以下の記述は、薬事法第25条の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

店舗販売業の許可

(ア) 医薬品 (医薬品のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が著しくないものであつて、(イ) その他の医薬関係者から提供された (ウ) に基づく需要者の選択により使用されることが目的とされているものをいう。) を店舗において販売し、又は授与する業務。

	ア	イ	ウ
1	一般用	薬剤師	情報
2	一般用	医師	情報
3	医療用	医師	文書
4	一般用	薬剤師	文書
5	医療用	薬剤師	文書

【薬事関係法規・制度】

問103

以下の記述は、薬事法の条文に関するものである。()の中に入れるべき字句を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

医薬品販売業の許可申請者（申請者が法人であるときは、その業務を行う役員を含む。）が、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった後、()を経過していない者には、許可を与えないことができる。

- 1 1年
- 2 3年
- 3 5年
- 4 10年
- 5 20年

問104

薬局と店舗販売業について述べた以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬局では、医療用医薬品を取り扱うことができない。
- イ 店舗販売業の管理者は、薬剤師でなくてもよい。
- ウ 薬剤師がいない店舗販売業では、全ての一般用医薬品を取り扱うことができない。
- エ 店舗管理者が薬剤師の店舗販売業では、調剤を行うことができる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問105

配置販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせをを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業者は、その業務に係る都道府県の区域を、自ら管理し、又は当該都道府県の区域内において配置販売に従事する配置員のうちから指定したものに管理させなければならない。
- イ 配置販売業では、医薬品を開封して分割販売することは認められている。
- ウ 配置販売業の許可は、一般用医薬品を、配置により販売又は授与する業務について、配置しようとする区域をその区域を含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与える。
- エ 配置販売業者又はその配置員は、医薬品の配置販売に従事しようとするときは、その氏名、配置販売に従事しようとする区域その他厚生労働省令で定める事項を、あらかじめ、配置販売に従事しようとする区域の都道府県知事に届け出なければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	誤	正	誤
5	正	正	誤	正

問106

以下の記述は薬局、店舗販売業及び配置販売業の医薬品の販売方法について述べたものである。誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 店舗販売業者は、すべての一般用医薬品について購入者の求めに応じての分割販売ができない。
- 2 配置販売業者は、配置以外の方法で医薬品の販売ができない。
- 3 薬局開設者又は店舗販売業者は、許可を受けた店舗以外で医薬品の販売を行うことはできない。
- 4 薬局は、購入者の求めに応じて分割販売ができる。

【薬事関係法規・制度】

問107

以下の記述は、薬事法第2条第1項の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号の()内には同じ字句が入りません。

この法律で「医薬品」とは、次に掲げる物をいう。

- 一 (ア) に収められている物
- 二 人又は動物の疾病の診断、治療又は予防に使用されることが目的とされている物であつて、(イ)、歯科材料、医療用品及び衛生用品(以下「(イ)等」という。)でないもの((ウ)を除く。)

	ア	イ	ウ
1	日本薬局方	機械器具	医薬部外品
2	日本医薬品基準	医療機器	化粧品
3	日本薬局方	機械器具	化粧品
4	日本薬局方	医療機器	医薬部外品
5	日本医薬品基準	医療機器	医薬部外品

問108

以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 化粧品とは、人の身体の構造若しくは機能に影響を及ぼすことを目的とするもので、人体に対する作用が緩和なものである。
- 2 化粧品は医薬品や医薬部外品と区別するため、容器又は直接の被包に、「化粧品」の文字が記載されていなければならない。
- 3 厚生労働大臣の指定する成分を含有する化粧品を製造販売しようとする者は、医薬品と同様に、必ず品目ごとに厚生労働大臣の承認を受ける必要がある。
- 4 化粧品の販売には、医薬品とは異なり、都道府県知事から化粧品販売業の許可を受ける必要はない。

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 9

以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 調剤を実施する薬局は、医療提供施設として位置づけられている。
- 2 病院の調剤所は、薬局としての開設の許可を受けていなくても薬局の名称を付けることができる。
- 3 薬局開設者は、薬剤師でなければならない。
- 4 薬局開設者は、一般用医薬品のうち、第一類医薬品については、薬剤師により販売させなければならない。

問 1 1 0

以下の記述のうち、「医薬品の範囲に関する基準」(昭和46年6月1日付け薬発第476号厚生省薬務局長通知「無承認無許可医薬品の指導取締りについて」)で医薬品に該当する要素として示されていないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 成分本質(原材料)が、専ら医薬品として使用されるものを含むこと。(食品添加物と認められる場合を除く。)
- 2 服用時期、服用間隔、服用量等の医薬品的な用法用量の記載があること。(調理のために使用方法、使用量等を定めている場合を除く。)
- 3 健康増進法第26条の規定に基づき厚生労働大臣の許可を受けた表示内容を表示する特別用途食品であること。
- 4 アンプル剤や舌下錠、口腔内噴霧剤等、医薬品的な形状であること。

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 1

以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬品であれば、特定保健用食品の厚生労働大臣の許可マークを使用できる。
- イ 栄養機能食品は栄養成分以外の成分について医薬品的な効能効果を表示しても医薬品には該当しない。
- ウ 栄養機能食品は、厚生労働大臣の個別審査は必要なく、個別審査を受けたものではない旨の表示が義務づけられている。
- エ 特定保健用食品とは、身体の生理学的機能等に影響を与える保健機能成分を含む食品で、特定の保健の用途に資する旨の表示が許可されたものである。

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 1 1 2

以下の記述は、薬事法第66条について述べたものである。正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬品は名称、製造方法、効能、効果又は性能に関して、虚偽又は誇大な記事を広告し、記述し、又は流布してはならない。
- イ 化粧品は美容に関する範囲内であれば、医薬品的な効能効果を表示・^{ぼう}標榜することができる。
- ウ 化粧品は医師が保証する範囲内であれば、医薬品的な効能効果を表示・^{ぼう}標榜することができる。
- エ 医薬部外品は、その効能効果が予め定められた範囲内であって、成分や用法等に照らして人体に対する作用が緩和であることを要件として、医薬品的な効能効果を表示・^{ぼう}標榜することが認められている。

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 3

以下の記述は、毒薬及び劇薬に関する薬事法の条文について述べたものである。正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 毒薬又は劇薬を、一般の生活者に対して販売又は譲渡する際には、当該医薬品を譲り受ける者から、品名、数量、使用目的、譲渡年月日、譲受人の氏名、住所及び職業が記入され、署名又は記名押印された書類の交付を受けなければならない。
- イ 業務上毒薬又は劇薬を取り扱う者は、それらを他の物と区別して貯蔵、陳列しなければならない。毒薬を貯蔵、陳列する場所には、かぎを施さなければならない。
- ウ 毒薬又は劇薬を、18歳未満の者に交付することは禁止されている。
- エ 店舗管理者が登録販売者である店舗販売業者は、毒薬又は劇薬についてはその直接の容器又は被包を開封して販売できる。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 1 1 4

以下の記述は、薬事法第44条の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

毒性が強いものとして厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定する医薬品（以下「毒薬」という。）は、その直接の容器又は直接の被包に、(ア)に白枠、(イ)をもつて、その品名及び「毒」の文字が記載されていなければならない。

劇性が強いものとして厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定する医薬品（以下「劇薬」という。）は、その直接の容器又は直接の被包に、(ウ)に赤枠、赤字をもつて、その品名及び「劇」の文字が記載されていなければならない。

	ア	イ	ウ
1	赤地	黒字	白地
2	黒地	白字	黒地
3	赤地	黒字	黒地
4	黒地	白字	白地
5	赤地	白字	白地

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 5

以下の記述は、一般用医薬品のリスク区分、リスク区分に応じた情報提供に関するものである。これらの記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 第二類医薬品は、その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品（第一類医薬品を除く。）であって厚生労働大臣が指定するものである。
- イ 薬局開設者、店舗販売業者又は配置販売業者は、一般用医薬品を陳列する場合には、厚生労働省令で定めるところにより、第一類医薬品、第二類医薬品又は第三類医薬品の区分ごとに陳列しなければならない。
- ウ 薬局開設者又は店舗販売業者が第一類医薬品を販売する場合には、厚生労働省令で定めるところにより、医薬品の販売に従事する薬剤師をして、厚生労働省令で定める事項を記載した書面を用いて、購入者にその適正な使用のために必要な情報を提供させなければならない。ただし、購入者から説明を要しない旨の意思表示があった場合はこの限りでない。
- エ 薬局開設者又は店舗販売業者が第二類医薬品を販売する場合には、厚生労働省令で定めるところにより、医薬品の販売に従事する薬剤師又は登録販売者をして、購入者にその適正な使用のために必要な情報を提供させるよう努めなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	誤	正	誤
5	正	正	誤	正

問 1 1 6

以下の記述のうち、薬事法第50条の規定により医薬品の直接の容器又は直接の被包に記載されていなければならない事項として、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 名称（日本薬局方に収められている医薬品にあっては日本薬局方において定められた名称、その他の医薬品で一般的名称があるものにおいてはその一般的名称）
- 2 製造業者の氏名又は名称及び住所
- 3 製造番号又は製造記号
- 4 重量、容量又は個数等の内容量
- 5 厚生労働大臣が指定する医薬品にあっては、その使用の期限

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 7

一般用医薬品に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 一般用医薬品の効能効果の表現に関しては、診断疾患名による表記ではなく、一般の生活者が判断できる症状で示されている。
- 2 一般用医薬品の中には、血液を検体とする検査用医薬品も認められている。
- 3 一般用医薬品では、年齢に応じて服用量が定められ、それを使用する一般の生活者による判断の余地は少ない。
- 4 一般用医薬品は、医療機関を受診するほどではない体調の不調や疾病の初期段階において使用されるものである。

問 1 1 8

以下の記述は、薬事法第 6 8 条の条文である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

何人も、第 1 4 条第 1 項又は第 2 3 条の 2 第 1 項に規定する医薬品又は(ア)であつて、まだ第 1 4 条第 1 項若しくは第 1 9 条の 2 第 1 項の規定による(イ)又は第 2 3 条の 2 第 1 項の規定による認証を受けていないものについて、その名称、製造方法、(ウ)、効果又は性能に関する広告をしてはならない。

	ア	イ	ウ
1	医薬部外品	許可	品名
2	医薬部外品	承認	効能
3	医療機器	承認	効能
4	医療機器	承認	品名
5	化粧品	許可	品名

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 9

薬事法に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 厚生労働大臣、都道府県知事、保健所を設置する市長及び特別区の区長は、その職員のうちから薬事監視員を命じ、監視指導を行っている。

イ 薬事監視員は、医薬品の販売業者の立入検査の際に、その店舗の開設者及び管理者のほか、従業員その他の関係者にも質問することができる。

ウ 薬事監視員は、無承認無許可医薬品、不良医薬品又は不正表示医薬品などの疑いがある物品を、試験のため必要な最少分量に限り、収去することができる。

エ 薬事監視員は、薬局の構造設備が基準に適合しない場合、改善命令を出すことができる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	正	正	正	誤
5	正	正	誤	正

問 1 2 0

以下の記述は店舗管理者の義務を規定する薬事法第 29 条の条文である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

第 1 項 店舗管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないように、その店舗に勤務する(ア)その他の従業者を監督し、その店舗の(イ)及び医薬品その他の物品を管理し、その他その店舗の業務につき、必要な注意をしなければならない。

第 2 項 店舗管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないように、その店舗の業務につき、(ウ)に対し必要な意見を述べなければならない。

	ア	イ	ウ
1	薬剤師	衛生環境	店舗経営者
2	薬剤師、登録販売者	構造設備	店舗販売業者
3	登録販売者	衛生環境	医薬品販売業者
4	薬剤師	構造設備	店舗経営者
5	薬剤師、登録販売者	衛生環境	店舗販売業者